

# 熊本県スポーツ協会 第2期スポーツ推進方策

## 〈令和4年度～令和8年度〉

スポーツが持つ限りない力を最大限に生かし  
明るく豊かで健康的な活力ある熊本づくりを目指す

### 1 第2期スポーツ推進方策で本県スポーツの価値を高めるための施策

#### (1) スポーツを「する」「みる」「ささえる」「はぐくむ」ための方策

- ① 多様な主体が参加できるスポーツの機会創出
- ② 自主性・自律性を促す指導ができる質の高いスポーツ指導者の育成
- ③ デジタル技術を活用した新たなスポーツ機会やスポーツ指導など DX 化を推進

#### (2) スポーツで「人（組織）があつまり」「つながる」ための方策

- ① 持続可能な開発目標（SDGs）に基づく、誰もがスポーツの価値を享受できる、スポーツを通じた共生社会の実現
- ② スポーツ団体のガバナンス・経営力強化、関係団体等の連携・協力によるスポーツ体制の強化
- ③ 国際スポーツ大会の開催実績に基づく、大規模大会の運営ノウハウの継承

#### (3) スポーツに「誰もが親しむ」ための方策

- ① 住民誰もが気軽にスポーツに親しめる「場づくり」等の機会の提供
- ② アスリートがスポーツ医・科学等の支援を受けられるよう地域機関の連携強化
- ③ 共生社会の実現や多様な主体によるスポーツ参画の促進
- ④ スポーツに関わる者の心身の安全・安心確保

### 2 今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策目標

#### (1) 多様な主体におけるスポーツの機会創出

##### 【SDGs／すべての人に健康と福祉を】

- ⇒ 青少年のスポーツ機会充実と体力向上、運動部活動改革への対応、スポーツ実施率の向上
- ◇スポーツ実施率を向上
  - ◇スポーツ少年団・総合型クラブへの子どもたちの参加率の向上

#### (2) 質の高いスポーツ指導者の育成とスポーツを実施する者の安全・安心の確保

##### 【SDGs／質の高い教育をみんなに】

- ⇒ 暴力や不適切な指導等の根絶に向けた指導者養成・研修の実施、スポーツ安全に係る情報発信・安全対策の促進

- ◇公認スポーツ資格者の取得率向上
- ◇指導者の質的充実に向けた研修会の実施

### (3) 本県スポーツ界におけるDX化の推進

#### 【SDGs／産業と技術革新の基盤を作ろう】

- ⇒ 先進技術やデジタル技術を活用したスポーツ指導並びにスポーツをする場の創出
  - ◇デジタル技術の活用に係る積極的な周知
  - ◇DXに係る指導者を対象とした研修会の実施

### (4) スポーツを通じた共生社会の実現と地方創生、まちづくりの促進

#### 【SDGs／ジェンダー平等を実現しよう】

- ⇒ 女性スポーツの環境の整備、女性役員候補者育成の支援、スポーツツーリズムの更なる推進協力
  - ◇女性スポーツに関する積極的な情報共有と支援
  - ◇スポーツツーリズム関係機関等との連携

### (5) スポーツ団体のガバナンス・経営力強化とスポーツ・インテグリティの確保

#### 【SDGs／平和と公正をすべての人に】

- ⇒ ガバナンス・コンプライアンスに関する研修等の実施、スポーツ団体へのガバナンスコードの普及促進、ドーピング防止活動の教育研修
  - ◇本会加盟団体へのガバナンスコードの普及促進
  - ◇ドーピング防止活動の充実

### (6) 本県競技力の向上

#### 【SDGs／質の高い教育をみんなに】

- ⇒ 中長期視点での戦略に基づく競技力向上システムの確立、全県的に競技力向上を支える体制の構築
  - ◇国民体育大会を通じた競技力向上
  - ◇世界に羽ばたくトップアスリートの育成

### (7) 大規模大会の開催・運営支援

#### 【SDGs／つくる責任 つかう責任】

- ⇒ 本県スポーツ関係団体・機関等が一体となった県民体育祭の開催と国際スポーツ大会を成功に導いた運営ノウハウの継承
  - ◇地域スポーツ振興に係る県民体育祭の充実
  - ◇本県で開催される大規模スポーツ大会への協力

### (8) スポーツ医・科学支援に係る地域機関の連携強化とスポーツによる健康増進

#### 【SDGs／質の高い教育をみんなに】

- ⇒ 大学も含めた地域スポーツ施設の有効活用の促進、女性のスポーツ指導に精通した指導者養成支援
  - ◇トップアスリートへの専門的なスポーツ医・科学支援
  - ◇女性指導者の養成と女性アスリートに対する支援